

東日本大震災への対応

保険会社が果たすべき使命は、
予期せぬ出来事からお客さまをお守りすることにほかなりません。
アクサ生命は、被災されたお客さまに一刻も早く
保険金・給付金をお支払いするための努力を続けるとともに、
被災地の1日も早い復興を願い、被災地域の支援に取り組んでいます。

お客さまのために

被災されたご契約者の方々を支援するため、以下の特別なお取り扱いを実施しています。

1. 災害保険金等の全額支払い

災害関係特約の約款にある「地震、噴火または津波によるときは災害死亡保険金、災害入院給付金等を削減したり支払われない場合がある」という規定を適用せず、災害死亡保険金等を全額お支払いします。

2. 保険料払込猶予期間の延長

被災によって保険料の支払いが困難な場合は、保険料の払込みを猶予する期間を最長9カ月延長します。

3. 保険金、給付金、契約者貸付金の簡易・迅速な支払い

お手続きの際に必要な書類の一部を省略するなど、簡易・迅速なお支払いに努めます。

4. 契約者貸付(新規貸付)の利率引き下げによる利息減免

2011年6月30日までの新規契約者貸付の年利を2011年12月31日まで1.5%(最高限度100万円)に引き下げました。

5. 入院給付金の取り扱いを変更

入院治療が必要であったにも関わらず、直ちに入院できなかつたり、予定より早い退院を余儀なくされたりした場合は、医師の証明書等をご提出いただく等により、入院期間以外も給付金支払いの対象とします。

6. 被害地域のお客さまのための専用ダイヤルの設置

土曜日も対応可能な専用回線を設置しました。

(注) 上記の取り扱いは、「東日本大震災」にかかる災害救助法適用地域(ただし、大量の帰宅困難者が発生したことなどにともない適用された東京都は除きます)を対象としています。

→ 被災地を支援する取り組み

AXAグループは、被災地の復興と被災者の方々の支援に役立てていただくために、総額1億3千万円の義援金を拠出しました。主な拠出先は以下のとおりです。

- ビジネスパートナーである商工会議所に約4,000万円を寄付しました。
- NPO/NGO・企業・政府・行政の連携組織である公益社団法人Civic Forceへの支援として、3,700万円を拠出しました。
- 各国の赤十字社等を通じ、約3,700万円を寄付しました。

その他、ご契約1件ごとに1ユーロを、世界の医療団(メドゥサン・デュ・モンド・ジャポン)に寄付する『がんばれ! 東北! 1件1ユーロキャンペーン』を展開しています。

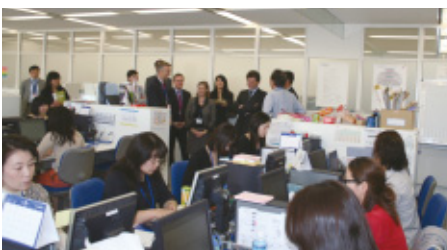


→ 被災地の社員のために

被災地にいち早くサポートチームを派遣し、食料など支援物資を運搬しました。また、原発事故の避難対象地域周辺に在籍する社員の移動手段と滞在施設を確保するとともに、放射線防護キット(安定ヨウ素剤、放射線防護服など)を手配しました。



被災地を訪問するグループチェアマン兼CEOアンリ・ドゥ・キャストゥルと
アクサ生命CEOジャン=ルイ・ローラン・ジョン



→ バックアップオフィスの設置

一時的に東京本社を閉鎖しなければならない状況となった場合に備えて、主要な業務を維持し、お客さまへのサービスの提供を継続するため、コールセンターや保険金支払い、契約保全などの主要な機能を速やかに移転できるバックアップオフィスを福岡に設置しました。